

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2017
(平成29年)

8

No.639



峰輪区「神楽奉納」(7/14)

五穀豊穡や家内安全を願う「天王祭」が町内各所で行われました。
峰輪区では、野本神社で神楽が奉納されました。

平成28年度 ふるさと納税の実績について

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額の一部が所得税と住民税から控除される制度です（一定の上限があります）。

町では、平成27年度より、インターネットサイトへ情報を掲載し、地場産品や宿泊券等の返礼品の増加、クレジットカード決済を導入し、新たな形で松崎町ふるさと納税をスタートしてきました。

その結果、平成27年度の寄附金額2322万4953円に対し、平成28年度末には、2758万4964円と約400万円の増加となりました。ふるさと納税を通して、当町を初めて知った方、当町出身の方、昔からの町ファンの方等、さまざまな方々に当町へふるさと納税をしていただきました。

下表は平成28年度ふるさと納税の寄附状況になります。寄附総額は2758万49

64円、1637件の寄附の申込みがありました。納税方法では、インターネットサイトからのクレジットカード決済が多くを占め、寄附件数の増加要因と考えられます。寄附金の使い道としては、寄附者からの使途要望を基に、平成29年度事業へ活用していく予定です。

今年度になり総務省より「返礼品として3割を超える返礼割合のものは速やかに3割以下とすること」と通達がありました。当町としても返礼率の見直しを行っていく予定です。返礼率が下がることによる納税者数の減少は懸念されますが、返礼品ありきの「ふるさと納税」を期待するのではなく、当町の地場産品や宿泊券、体験メニューを提供することにより、産業の活性化や町への誘客を促し、納税後の二次的効果も期待しています。そうすることで、当町を応援したいとの思いでふるさと納税をしてくださった方々の意志を汲み、さらに当町の「応援者」となるファンを増加させることが、今後の町の発展にもつながる材料になると考えています。

ふるさと納税の寄附状況について（平成28年度）

☆寄附状況

集計期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
寄附総額	27,584,964円
寄附件数	1,637件

☆納付方法別ランキング

順位	納付方法	件数
1位	クレジットカード	1,459
2位	銀行振込	122
3位	現金持参	40

☆寄附自治体別ランキング

順位	都道府県	件数
1位	東京都	461
2位	神奈川県	252
3位	埼玉県	124

☆お礼の品ランキング

順位	総合	件数
1位	マツベジ A-2-8 はちみつ	159
2位	マツベジ A-1-2 生わさび特選わさび漬けセット①	96
3位	マツベジ A-1-15 加賀農園 ハルミ 4kg	93
4位	伊豆トレイルジャーニー2016松崎町ふるさと納税エントリー	82
5位	マツベジ A-1-10 甘夏	79

☆寄附使途別ランキング

順位	寄附金の使い道	件数	寄附金額
1位	特に指定しない	548	10,415,000円
2位	自然と調和し快適な環境が整ったまちづくり	369	6,796,003円
3位	未来を担う人材を育むまちづくり	276	3,575,011円
4位	健やか・安心に暮らせる福祉のまちづくり	184	2,475,000円
5位	地域が一体となった産業が盛んなまちづくり	178	3,333,000円
6位	防災・防犯対策が充実し安全なまちづくり	65	700,950円
7位	多様な主体により協働で進めるまちづくり	11	160,000円
8位	その他	6	130,000円

と納税をしてくださった方々の意志を汲み、さらに当町の「応援者」となるファンを増加させることが、今後の町の発展にもつながる材料になると考えています。

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

人気の返礼品



▲とろ〜り濃厚なはちみつ



▲香りと辛さがクセになるわさび

静岡大学地域創造学環 フィールドワークの受け入れ

伊豆半島南部の大学のない地域に学生を呼ぶために、町では常葉大学と地域包括連携協定を締結するとともに、静岡大学のフィールドワーク（現地調査）の受け入れや、積極的なインターン（体験就業）の受け入れ等を実施しています。

昨年4月から、静岡大学では、新しい全学教育プログラム「地域創造学環」をスタートし、地域づくりに汗をかくことのできる「地域創造型人材」を養成しています。

大学内の授業だけでは身に付けることができないコミュニケーション能力、提案能力等を高め、地域の人々と交流する中で地域課題や資源の発見をし、その知見を大学に持ち帰り、授業に生かし、さらに深く探究した後、また地域に出て活動していく往還を学びの方法にしています。

町では、「商店街のにぎわい創出」と「防災と観光」をテーマにフィールドワークを受け入れており、学生の活気と大

学の知見を地域に取り入れることで、地元の方々も元気になること、地域の活性化につなげることを目指しています。

詳細は、静岡大学のホームページをご覧ください。

(<http://www.srdshizuoka.ac.jp/>)



▲商店街でのヒアリング後のワークショップの様子

▼商店街コミュニティスペースの美化、清掃



地域おこし協力隊の活動紹介 （野中直美 隊員）

松崎町に来て、早いもので2年4カ月。自分の得意なこと、好きなこと、叶えたい想いと、町の方々の想いが重なる部分を模索できれば、よりよい地域おこし活動になるのではないかとの考えのもと、2年間活動してきました。幸い、この自然を活かしたい、町の観光を活性化したい、町の自然や文化の価値を再認識したい、子どもたちが豊かに育つ環境を創りたい、という部分でさまざまな方と想いが重なり、たくさんの方の活動をご一緒させていただいています。

秋に向けた活動として、「自然を活かした観光の活性化」・「新たな町のイベント実施方法の模索」・「地元の方に水辺に親しんでもらう」を目標に掲げ、9月9、10日に「伊豆松崎ファンSUP（※）イベント」を企画しています。イベント名には、町外からSUPイベントをキッカケに来町して「松崎町Fan」になっ

てもらいたい、SUPや水辺

を「楽しんで（Fun）」もらいたい、という想いを込めています。

昨年から町の若手有志の方々と共に、「自分たちも楽しみながら町を元気にする」というコンセプトで実行委員会を立ち上げ活動を続けています。

昨年のプレイベントを経て、イベント成功のポイントは、「地元住民の参加」でした。

地元住民が楽しんでくれてこそ、町外から来た方が楽しんでくれる、松崎を好きになつてくれると思います。これは私自身がさまざまな土地を訪れ、身をもって感じてきたことです。私たちの町の良いところはこんなところという自慢に自然と魅かれていきます。

また一方では、友達や家族と交流する場として、町のスポーツイベントとして、町民の方が活用してくれたら嬉しいです。多年代で楽しめるSUPで、さまざまな交流の輪が広がったらいと思います。

体験会も順次開催していま

すので、まずはSUPを知るところから始めてみませんか。たくさんの方のイベントへのご参加をお待ちしています。

（イベントホームページ：Facebookは「伊豆松崎ファンSUPイベント」で検索）

※SUP（サップ）：スタンドアップパドルボードの略。

ボードの上に立って漕いで遊ぶスポーツ。誰でもすぐにできる手軽さで、非日常の眺めが楽しめる。松崎町はSUPをやるのに最適な環境です。



SUPを楽しむ小学生

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

高齢受給者証が クリーム色に変わります！



8月1日（火）から高齢受給者証が更新され「クリーム色」に変わります。

高齢受給者証は、国民健康保険に加入されている70歳（誕生月の翌月。1日生まれ

の方は誕生月）から74歳の方に交付され、国民健康保険被保険者証とともに保険医療機関窓口で提示することで、自己負担割合が下記のとおりとなります。

新しい高齢受給者証は届いていますか？

新しい「クリーム色」の高齢受給者証は、7月下旬に対象の方へ発送させていたいただきました。8月1日以降に医療機関にかかる際は、医療機関の窓口で提示してください。



高齢受給者証の見本

「緑色」の旧高齢受給者証は有効期限が7月31日まで（または75歳になる誕生日の前日まで）となっていますので、各自で破棄してください。

国民健康保険高齢受給者証の自己負担割合について

自己負担割合は誕生日および所得によって異なります。

- * 誕生日が、昭和19年4月1日以前の方 **【1割】**
- * 誕生日が、昭和19年4月2日以降の方 **【2割】**
- * 現役並み所得者 **【3割】**

（現役並み所得者とは）

住民税課税所得が145万円以上の70歳以上75歳未満の国保被保険者。同一世帯に現役並み所得者がいれば、全員3割負担割合になります。誕生日が昭和20年1月2日以降の被保険者がいる世帯については、基礎控除後の総所得金額等の合計額が210万円以下の場合是一般区分（1割または2割）に該当します。申

請の必要はありません。

申請が必要です！

上記負担区分の3割に該当する方で、次にあてはまる方は、申請により一般区分（1割または2割）になります。

対象と思われる方には申請書をお封していますので、提出をお願いします。

自己負担割合が一般区分になる方

	同じ世帯の 70歳以上75歳未満の 国民健康保険被保険者数	収入
1	1人	383万円未満
2		後期高齢者医療制度移行に伴い、国民健康保険を抜けた人を含めて合計520万円未満
3	2人以上	合計520万円未満

【問合せ】
健康福祉課（42） 3966

9月1日は総合防災訓練の日です。 地域の訓練に参加しましょう。



町の総合防災訓練は、9月1日（金）に行います。

各自自主防災会で地域の実情に合わせた訓練が行われますので、積極的に参加し、地震発生時・発生後の自分の行動（自助）や地域住民同士でとるべき行動（共助）を再確認してください。

阪神・淡路大震災の際、がれきの中から救出された被災者の7割は、「家族や近所の人」によって助け出されたという調査結果もあります。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで自主防災組織の活動に積極的に参加し、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

地震対策では「正しく知って、正しく恐れる」ことが大事と言われています。家の耐震性、けがをしないで逃げるための家具の固定、津波の浸水深や到達時間、避難路や地域内の危険箇所等、正しく知

ることで事前準備を行い、「減災」に努めましょう。

津波避難計画

静岡県第4次地震被害想定では、駿河・南海トラフ側で地震が発生した場合、津波による町内の海岸の水位上昇が1層を超えるまでの時間は、最短で4分とされています。

従来の避難行動は「5分後、揺れがおさまったら避難する」となっていますが、町の津波浸水区域内では「3分後、揺れていても動けるようになったら避難する」という行動が必要となります。

訓練では、避難時間を計る等、実際の避難行動の課題等も検証しましょう。

【問合せ】
総務課（42） 3963

「シエフズキッチン in 松崎・夏」開催



▲料理を手にする参加者

7月2日、「料理マスターズ倶楽部」に委託し、伊豆まつざき荘で「シエフズキッチン in 松崎・夏」を開催しました。「和洋中でワイワイと『交流』・ゆつくりと『味わう』」をテーマに、町内外から81人が来場し、和食の北沢正和シェフ・フレンチの杉本敬三シェフ・中華の薮崎友宏シェフによる地元の食材を使った「金目鯛姿縄文蒸し焼き」や「桑の葉のパスタ」、青パイイヤーの葉でくるんだ「天城軍鶏のパ



▲写真左から、北沢正和シェフ、薮崎友宏シェフ、杉本敬三シェフ

企画観光課（42） 3964

【問合せ】
このイベントは、「伊豆まつざき荘」の職員研修も兼ねており、一流の料理人や接客サービスのプロフェッショナルに指導を受け、今後、「伊豆まつざき荘」がより質の高いサービスの提供を目指す機会となりました。

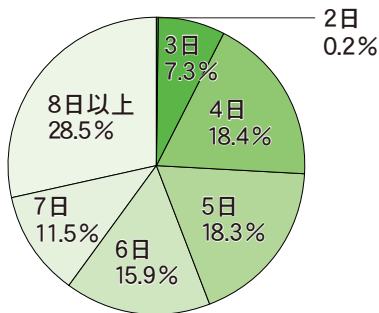
裁判員裁判の実施状況 ～経験者の声もお知らせします～

平成21年5月21日のスタートから8年が経過する「裁判員制度」について、平成28年12月末までの裁判員裁判の実施状況をお知らせします。

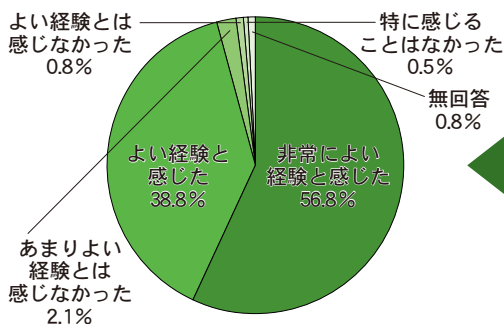
裁判員裁判に関するデータ

- ・裁判員に選ばれた方は、5万4964人
- ・裁判員裁判のため、裁判所に来ていただく日数の平均は、約5.6日です。

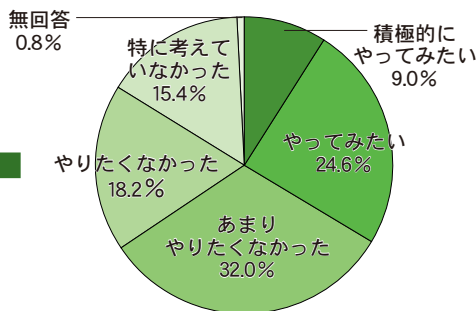
(裁判所に来ていただく日数)



(裁判員として裁判に参加した感想)



(裁判員に選ばれる前の気持ち)



裁判員に選ばれる前後での気持ちの変化は？

「(あまり)やりたくなかった」から、「(非常に)よい経験と感じた」へと変化しており、充実感をもって裁判員としての職務に従事していただけたことがうかがえます。

裁判員制度ウェブサイト

裁判員制度に関するいろいろな資料や、裁判員裁判の開廷情報へのリンク等を掲載しています。以下にコンテンツの一部を紹介します。・裁判員制度に関する動画
・裁判員裁判に関するパンフレット
・お子様向けコンテンツ

こちらをぜひ検索してください。
<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

【問合せ】

静岡地方裁判所事務局総務課
054(251)6241



My Town Topics ～まちのできごと～



第18回静岡県市町対抗駅伝競走大会決起大会

6月26日、「第18回静岡県市町対抗駅伝競走大会決起大会」を行い、役員や選手の紹介、練習日程の説明をしました。選手は、毎週水曜日を中心に練習を始めています。



一社一村しずおか運動認定式

7月4日、「企業組合松崎桑葉ファーム」と「県立東部特別支援学校伊豆松崎分校」の「一社一村しずおか運動認定式」が行われました。組合と学校の協働活動は、平成25年から続いています。



伊豆松崎 砂の造形大会

7月8日、松崎海岸で「伊豆松崎砂の造形大会」が行われました。3歳児以上の子どもたちが、砂や貝殻等を使い、協力して亀やタコ等を造りました。



地域清掃活動

7月11日、松崎小学校6年生と松崎中学校全校生徒で、松崎海岸と伏倉の土手の清掃活動を行いました。松崎海岸では、小学生と中学生がグループになり、共に汗を流して活動しました。

自然を楽しみ尽くす夏休みに

7月後半に町内の幼稚園、小中学校、高校では終業式が行われ、子どもたちは夏休みを満喫していることと思います。

ゲームやパソコン、スマホ等、室内で遊べる魅力的な道具がたくさんある現代では、外遊びより室内遊びの方がいいという子どもも少なくないと思います。親世代の方たちは海で

釣りをしたり、山で昆虫採集をしたりと自然が遊びの舞台だった方が大半ではないかと思えます。松崎を離れ、都会で暮らす旧友、知人とは、子どもの頃、あそここの川で釣った鮎は大きかったとか、山で捕ったクワガタが大きかったといった話で盛り上がり、小学唱歌「ふるさと」にある「志を果たしていつの日にか帰らん。山は青きふるさ

町長室からこんにちは ⑨2



「保育園交流会」で魚を手にとる園児

松崎町長
齋藤 文彦

子育て世代の皆様、地域の皆様には、身近にある自然に触れて子どもと一緒に楽しむ、その感動を共有する夏を過ごしていただきたいと思えます。

こうした体験は、子どもたちにとって忘れ難い思い出になり、その後の人生の大きな糧になり得るものだと思います。こうした子どもたちを育てることは、地域活性化の原動力になります。

「水は清きふるさと」という歌詞を思い出すとともに、松崎の素晴らしさを強く感じます。

音楽で、共に楽しく健康に！

おたまじゃくしの会

キラリ、輝き人 No.32

「おたまじゃくしの会」代表の高橋眞弓さんは、東京の音楽大学を卒業後、ピアノ教師の傍ら「音楽の力で人が元気になる」ことを感じ、音楽療法を勉強して、静岡の介護施設や病院等で活動してきました。松崎に引っ越してきた

「おたまじゃくしの会」代表の高橋眞弓さんは、東京の音楽大学を卒業後、ピアノ教師の傍ら「音楽の力で人が元気になる」ことを感じ、音楽療法を勉強して、静岡の介護施設や病院等で活動してきました。松崎に引っ越してきた

ことをきつかけに仲間を募り、平成15年に町内での活動を始めました。現在は、音楽が好きな松崎町・西伊豆町の会員13人で活動しています。

会員の皆さんに活動の様子を聞くと、「月に1回、歌や楽器、ポディーパーカッション等の練習をして

▶松崎デイサービスセンター訪問の様子



(写真協力：松崎デイサービスセンター)



▲ポディーパーカッションの練習の様子

Profile

おたまじゃくしのかい

松崎町・西伊豆町の音楽が好きな13人で「音楽ボランティア活動」をしています。会の名前の由来は、音符と田に在るおたまじゃくしをかけたもので、いつかカエルになることを夢見ながら楽しく活動できるようにと付けたものです。

います。そして、毎月、松崎デイサービスセンターを中心に施設を訪問し、季節の歌や懐かしい曲を歌ったり、音楽にのり身体を動かしたり、利用者さんが楽器を使い演奏する等、お互いが心も身体も元気になることを目標に活動しています。また、会員の演奏を聞いてもらったり、利用者さんの誕生日のお祝いをする事もありです。私たちが帰る頃、利用者さんの笑顔が増えて、元気な姿を見られることが嬉しいです。『また来てね』と言われると次への励みになります」と話してくれました。

そして、毎年12月には、松崎町・西伊豆町の幼稚園を訪問し、トーンチャイムやポディーパーカッションを演奏する等、クリスマス会に花を添えています。

今後に向けては、「音楽の素晴らしさを心に留め、自分たちも勉強し、触れ合う人たちに喜んでもらえるように活動を続けていきたいです」と話してくれました。

姉妹都市通信

帯広市から

「愛の国から幸福へ」60周年を迎えた幸福駅

「愛の国から幸福へ」のキャッチフレーズで有名な、「恋人の聖地」の幸福駅。1973年（昭和48年）にテレビ番組で紹介されたことをきっかけに、愛国駅から幸福駅行きの切符が一大ブームとなりました。1987年（昭和62年）に廃線になったあとも、世界中から幸せを願う人々が訪れています。

また、ここ幸福駅では、ウエディングドレスとタキシードに身を包み、ウエディング体験ができるイベント「幸福駅ハッピーセレモニー」を開催しています。

家族や友人が祝福する中、立会人のもと互いにメッセージを綴り、幸福の鐘を鳴らして記念撮影を行います。

幸福駅は、1956年（昭和31年）11月に開設してから、昨年で60年の節目を迎えました。同年10月には、「愛情駅」という別名を持つ台湾新竹県の合興駅と友好駅協定を締結しました。海を越え、「愛」と「幸福」を結ぶ地となった幸福駅に、家族や友人、大切な人と幸福の鐘を鳴らしに来ませんか。



▲現在も訪れた人たちが幸せを願い、メッセージを残して行く「愛国から幸福ゆき」切符

▼家族や友人の祝福いっぱいフラワーシャワー



▲「愛」と「幸福」は国境を越えて一つに

【お詫び】

前回の姉妹都市通信（5月号）のタイトルが誤っていました。正しくは、「歌舞伎役者も褒めた帯広の水」です。お詫びして訂正いたします。

町の人口と世帯

(平成29年6月30日現在)
()内は前月比

総人口	6,896人	(-8人)
男	3,281人	(-1人)
女	3,615人	(-7人)
世帯数	3,005戸	(+2戸)
転入	6人	転出 6人
出生	1人	死亡 9人

【問合せ】健康福祉課
(42) 3966
※このコーナーは偶数月に掲載します。



田中 道敬くん
(船田)



高橋 あさひちゃん
(雲見)

3歳児健診で「虫歯」が
なかったお子さんを
紹介します。

ピカピカ
キッズ



土砂災害（特別）警戒区域の指定について

土砂災害防止法(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律)第7条第1項および第9条第1項の規定に基づき、静岡県が土砂災害警戒区域等を指定しました。

指定年月日：平成29年7月7日

区域名	所在地	区域指定		土石流危険渓流(参考)	
		イエロー	レッド	危険箇所番号	箇所名
上道部沢A	松崎町道部	○	○	305-S-0004	上道部沢A
八木山沢A	松崎町岩科北側	○	○	305-S-0005	八木山沢A
皆毛川A	松崎町岩科南側	○	○	305-S-0006	松尾沢A
上ノ山沢C	松崎町石部	○	○	305-S-0007	上ノ山沢C
柳原沢A	松崎町石部	○	○	305-S-0009	柳原沢A
太田沢A	松崎町雲見	○	○	305-S-0010	太田沢A

指定年月日：平成29年7月11日

区域名	所在地	区域指定		土石流危険渓流(参考)	
		イエロー	レッド	危険箇所番号	箇所名
吉田沢A	松崎町吉田	○	○	305-S-0001	吉田沢A
平沢A	松崎町南郷	○	○	305-S-0002	平沢A
朝倉沢A	松崎町伏倉	○	○	305-S-0003	朝倉沢A
上ノ沢B	松崎町石部	○	○	305-S-0008	上ノ沢B

指定箇所に係る図面等は、静岡県交通基盤部河川砂防局、下田土木事務所および役場産業建設課等で縦覧できます。

【問合せ】 下田土木事務所企画検査課 (24) 2113
産業建設課 (42) 3965

(6月届出分) 戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
伏倉	琉 仁	男	渡辺 将英

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
池代	山本 勅滋	75	達 男
江奈2	木村 秋子	92	手塚キミ子
伏倉	藤池美代子	86	寿 夫
那賀	土屋 九彦	95	直 彦
明伏	山崎いちの	91	唯 和
江奈2	石田 修二	84	た つ
伏倉	石田りと子	81	正 志
江奈2	濱 詰 清一	87	みち江

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成29年6月発生分

()内は前年同月比

人身事故	1件	(±0)
物損事故	6件	(-3)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(+1)

寝てもいたし起きても痛きこの腰を
もて余したらわれの負けなり
夕暮れの山の稜線いく重にも
南アルプス車窓に映る
玉葱もさやゑんどうも実りよく
子らの喜ぶ顔がうかび来
堤防の端から端まで一連れと
なりたる鷗逆光にみる
うす墨で流れるやうに書き添えてゆく
雲の一字を空にうかせる

山本智恵子
堀岡 洋子
飯野 ふさ
石田 安江
中村 宣子

松崎文芸

— 短歌 —

広報まつねき

二〇一七年八月一日発行
通刊 第六三九号

〒410-1696 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一
☎〇五〇四二一三九六四 版〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課